

# 中小企業景気動向調査

(2020年7~9月調査)

目次

全業種業況概要(業況~設備の状況) ..... 1  
 業種別業況の推移 ..... 3  
     製造業/卸売業/小売業 ..... 4  
     建設業/サービス業/不動産業 ..... 5  
 特別調査(新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について) 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

●調査時点

2020年9月初旬

●調査対象時期

2020年7月~9月実績及び  
2020年10月~12月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	53	94.6
卸売業	21	10.5	21	100.0
小売業	42	21.0	38	90.5
建設業	32	16.0	31	96.9
サービス業	32	16.0	30	93.8
不動産業	17	8.5	17	100.0
合計	200	100.0	190	95.0

分析方法 D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)  
 B=ややA  
 C=普通(変わらず・適正)  $D.I=A \cdot B - D \cdot E$   
 D=ややE  
 E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A.B.C.D.E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

## 売上額・収益は改善するも業況は悪化

金沢信用金庫が行った中小企業190社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率95.0%)の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△68.4(前期△64.4)と4.0%悪化した。

業種別では、業況DI値が最も悪い製造業が△88.7(前期△63.0)と25.7%悪化。不動産業も△52.9(前期△25.0)と27.9%悪化した。一

方、卸売業は△85.7(前期△94.7)と9.0%改善、ほかサービス業が△73.3(前期△87.1)と13.8%、小売業が△65.8(前期△70.0)と4.2%、建設業が△29.0(前期△38.7)と9.7%改善した。

全産業ベースの売上額判断DIは△26.8(前期△61.3)と34.5%改善し、同収益判断DIも△33.2(前期△60.7)と27.5%改善した。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は、「売上の延滞・減少」(全回答中70.0%)で、以下「同業者間の競争激化」(全回答中21.1%)、「利幅の減少」(全回答中20.0

%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の節減」(全回答中55.8%)との回答が前回同様に最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中36.8%)、「情報力を強化する」(全回答中21.6%)という結果となった。

来期予想では、業況が△63.7(今期△68.4)と4.7%の改善、売上額は△32.6(今期△26.8)と5.8%の減少、収益も△34.2(今期△33.2)と1.0%の減少を予想している。

(注)2020年7~9月を今期、4~6月を前期、10~12月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。) 好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ ☔️ → 低調

業種名	時期	2018年(平成30年)	2019年(平成31年・令和元年)				2020年(令和2年)			見通し
		10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	
総合		☁️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
製造業		☀️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
卸売業		☀️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
小売業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
建設業		☀️	☁️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️
サービス業		☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
不動産業		☁️	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☔️	☔️	☔️

# 全業種

	2018年 (平成30年)	2019年(平成31年・令和元年)				2020年(令和2年)				見通し
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	
業況	5.2	△2.4	△19.7	△15.7	△20.9	△34.4	△64.4	△68.4	△63.7	
売上額	20.5	△13.9	△8.7	△12.7	△7.1	△38.6	△61.3	△26.8	△32.6	
受注残	29.2	△11.6	△1.1	△9.3	△9.3	△35.0	△48.2	△36.9	△17.9	
収益	11.4	△17.3	△15.9	△16.2	△10.7	△37.6	△60.7	△33.2	△34.2	
販売価格	8.1	5.3	3.8	4.4	11.2	△3.2	△16.2	△1.6	△2.1	
原材料価格	31.4	22.6	33.7	22.5	32.7	10.1	△1.6	12.1	8.4	
在庫	8.0	2.9	5.7	9.4	9.0	5.7	15.6	8.1	5.0	
資金繰り	△8.6	△13.5	△13.0	△13.7	△12.2	△18.5	△40.3	△16.8	△21.6	
雇用(人手)	△36.4	△33.7	△33.7	△29.4	△27.0	△27.5	12.0	6.8	2.1	
設備状況	△13.2	△10.1	△9.0	△12.9	△9.5	△11.0	△5.7	△7.5	△4.6	

## 設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた173社の動向です。

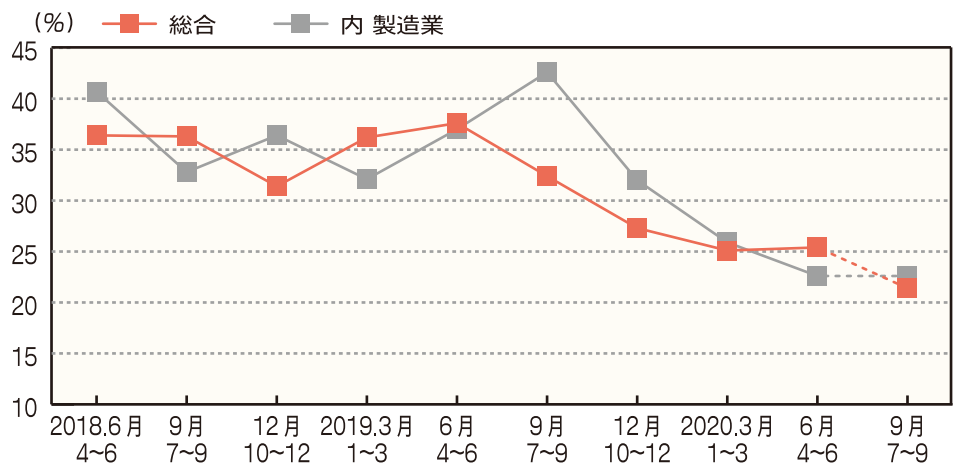
### ● 7~9月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数 44
	%	25.4	74.6
(内 製造業)	数	12	41
	%	22.6	77.4

(来期見通し)

		有	無
		総合	数 37
	%	21.4	78.6
(内 製造業)	数	12	41
	%	22.6	77.4

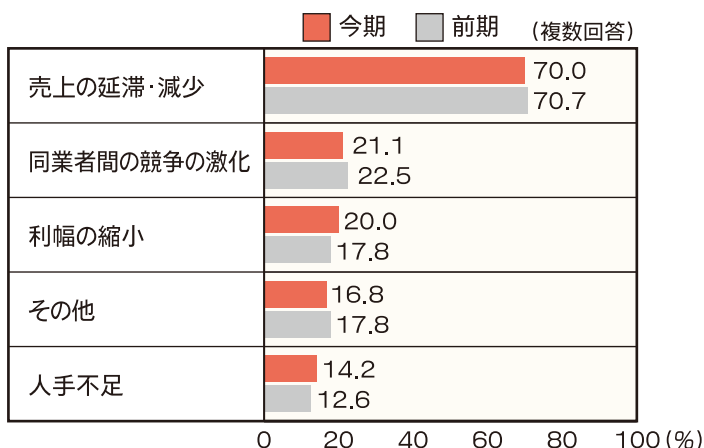
### ● 設備投資実施(予定)割合



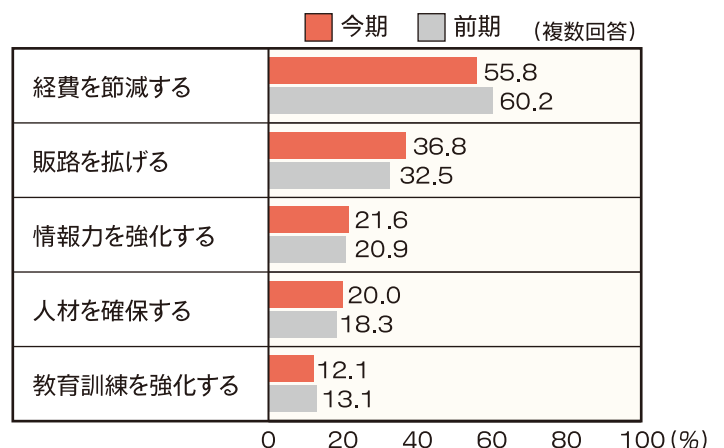
### ● 7~9月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	5.2	4.6	8.1	5.8
(内 製造業)	%	0.0	7.5	7.5	7.5	7.5	0.0

## 経営上の問題点



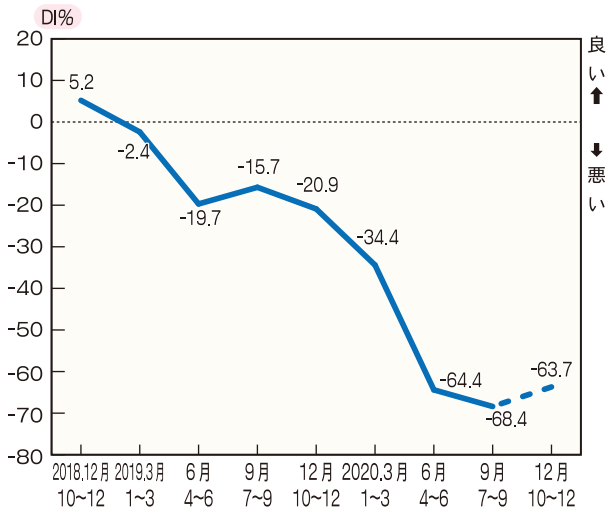
## 重点経営施策



# 全業種

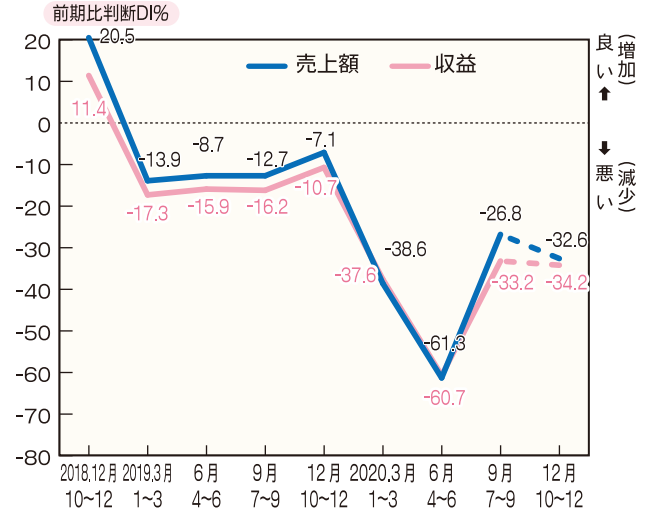
## 業況

4期連続で、前期よりさらに  
4.0ポイント悪化



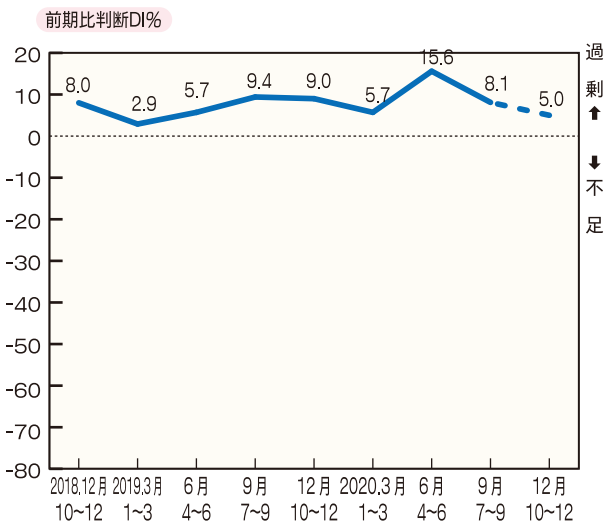
## 売上額・収益

売上・収益ともに改善するも  
来期は悪化を予想



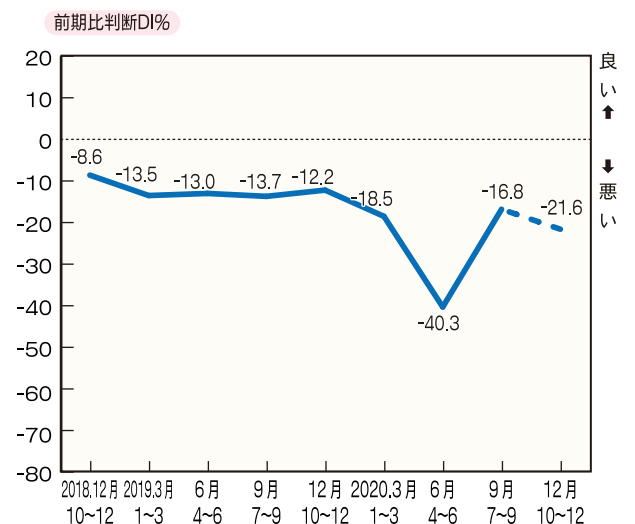
## 在庫

8.1と前期より7.5ポイントの減少



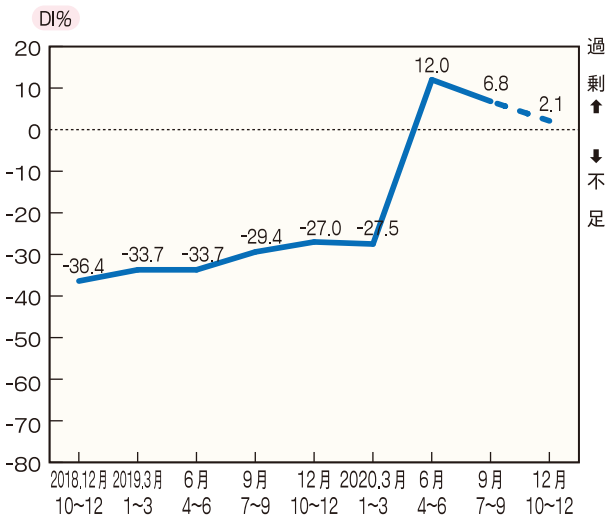
## 資金繰り

23.5ポイント改善するも  
来期は4.8ポイントの悪化を予想



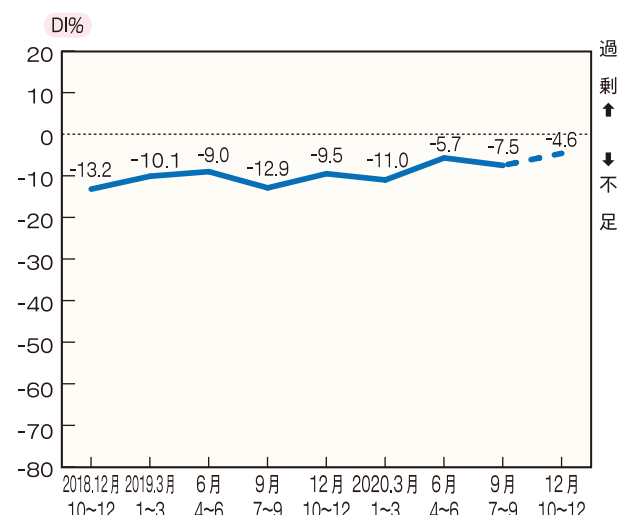
## 雇用

人手不足感は2期連続で解消  
来期予想も2.1とプラス値



## 設備の状況

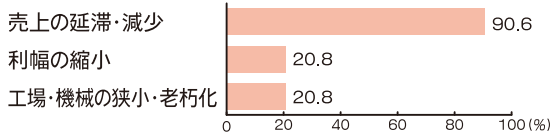
1.8ポイント減少  
来期は2.9ポイントの増加を予想



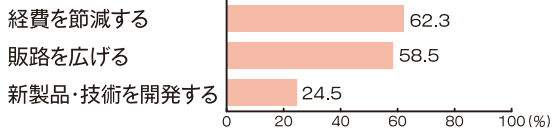
# 製造業

業況・売上額・収益  
ともに3期連続悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



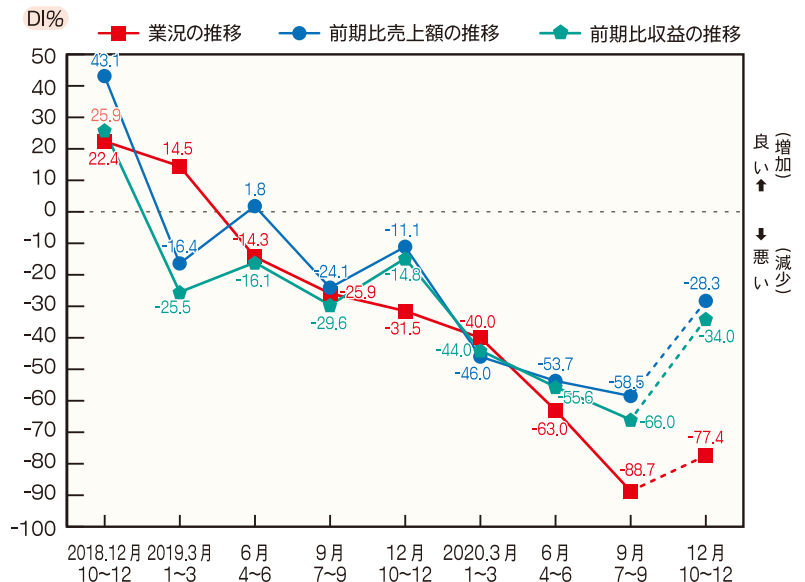
## ◆ 昨年同時期 (2019年7~9月) に比した動き

売上額	△83.0
収益	△83.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	66.0%
借入の予定	28.3%

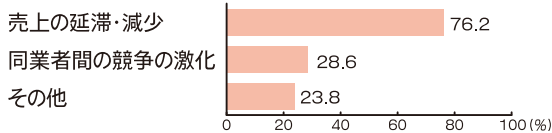
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



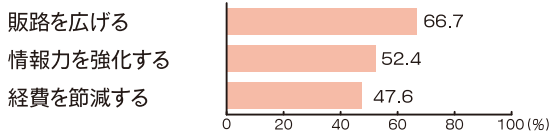
# 卸売業

売上・収益は大幅に改善  
業況もやや改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



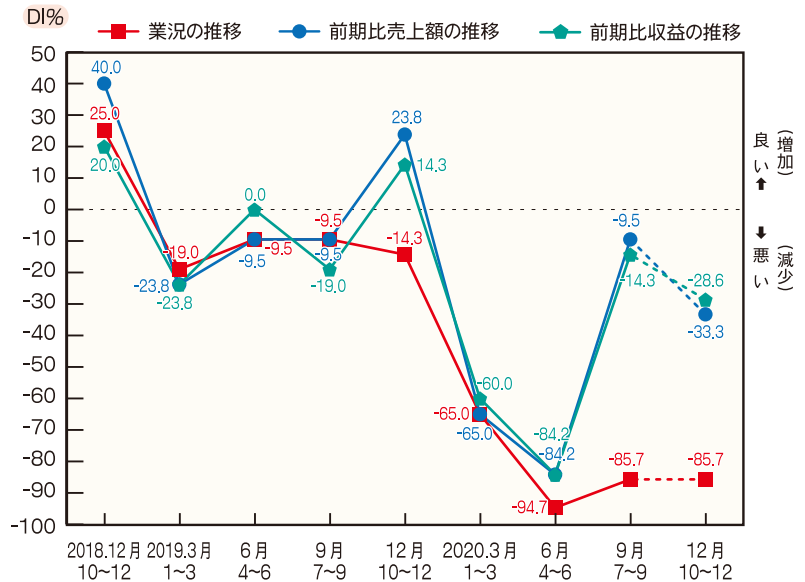
## ◆ 昨年同時期 (2019年7~9月) に比した動き

売上額	△85.7
収益	△76.2
販売価格	0.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	52.4%
借入の予定	19.0%

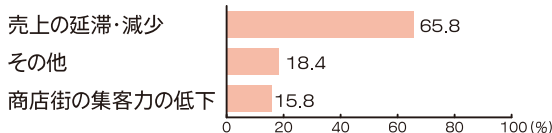
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



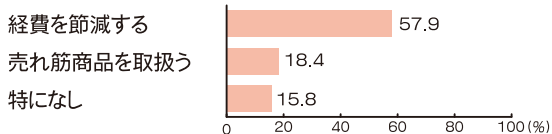
# 小売業

売上・収益は改善  
業況もわずかに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



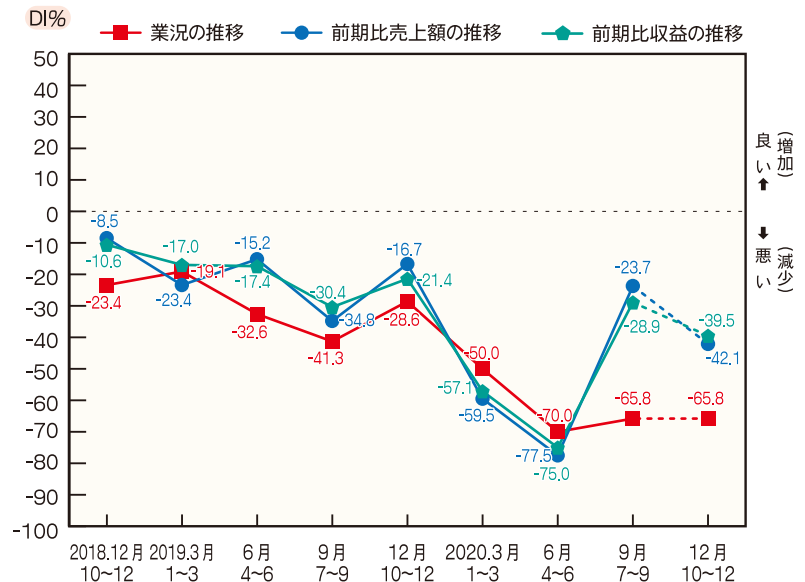
## ◆ 昨年同時期 (2019年7~9月) に比した動き

売上額	△60.5
収益	△60.5
販売価格	2.6

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	47.4%
借入の予定	18.4%

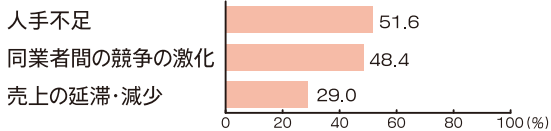
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



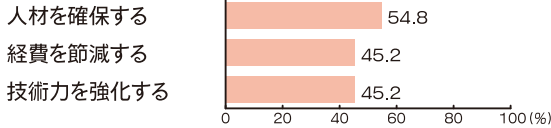
# 建設業

業況・売上・収益  
ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



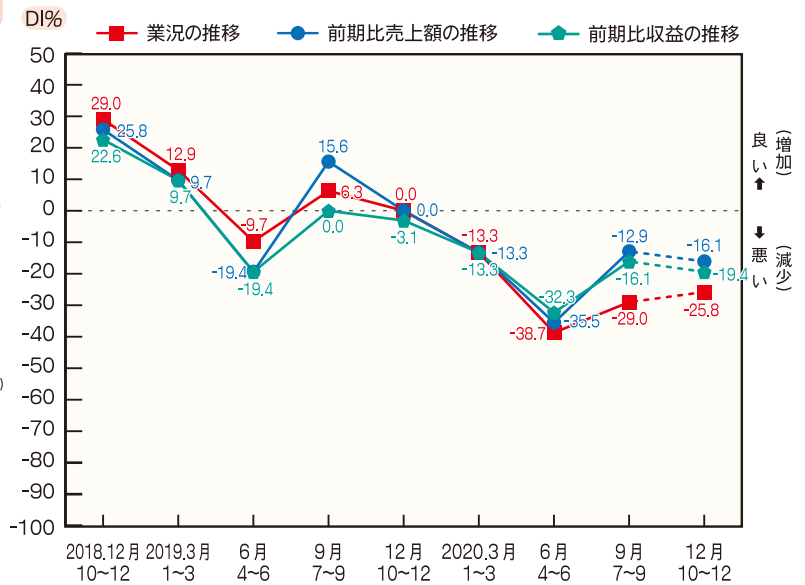
## ◆ 昨年同時期(2019年7~9月)に比した動き

売上額	△32.3
収益	△38.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	48.4%
借入の予定	16.1%

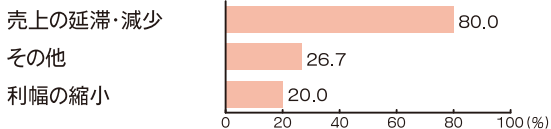
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



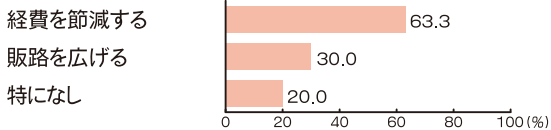
# サービス業

売上・収益は大幅に改善  
業況も13.4ポイントの上昇

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



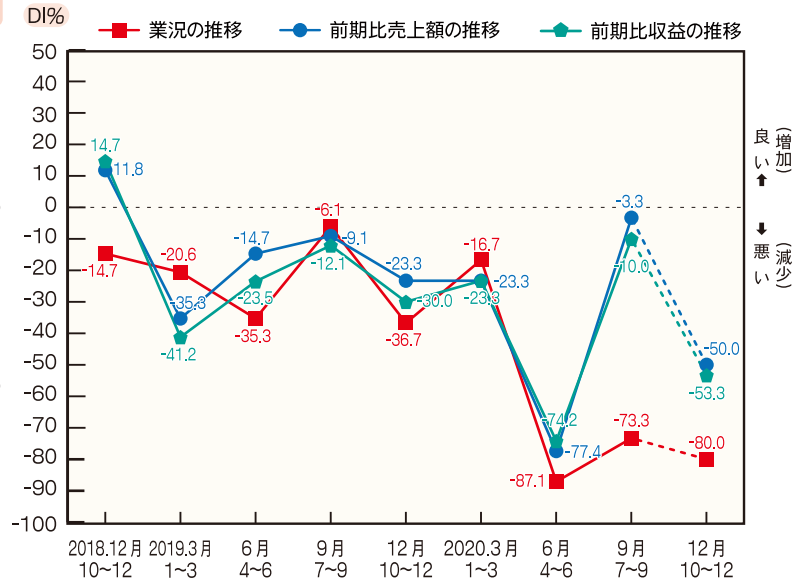
## ◆ 昨年同時期(2019年7~9月)に比した動き

売上額	△66.7
収益	△60.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	50.0%
借入の予定	26.7%

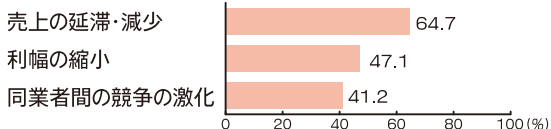
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



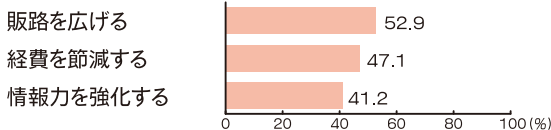
# 不動産業

売上・収益は改善するも  
業況は悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



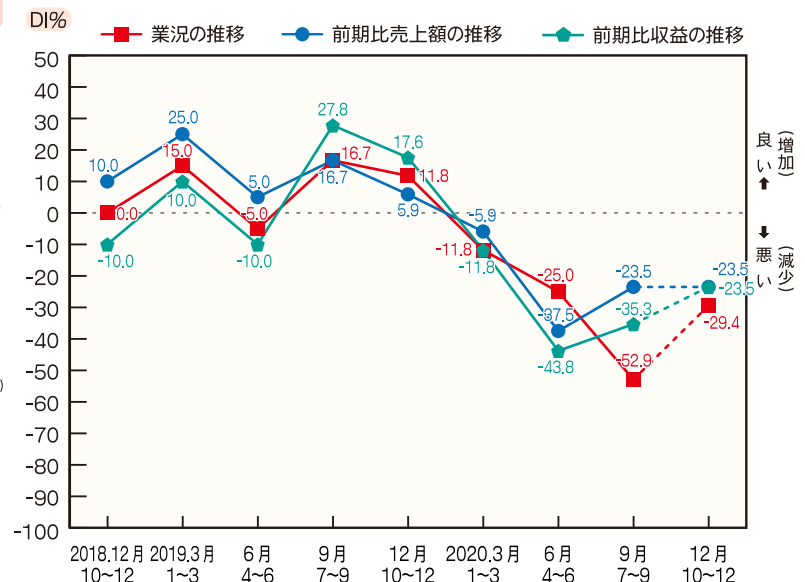
## ◆ 昨年同時期(2019年7~9月)に比した動き

売上額	△35.3
収益	△41.2

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	41.2%
借入の予定	35.3%

## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移

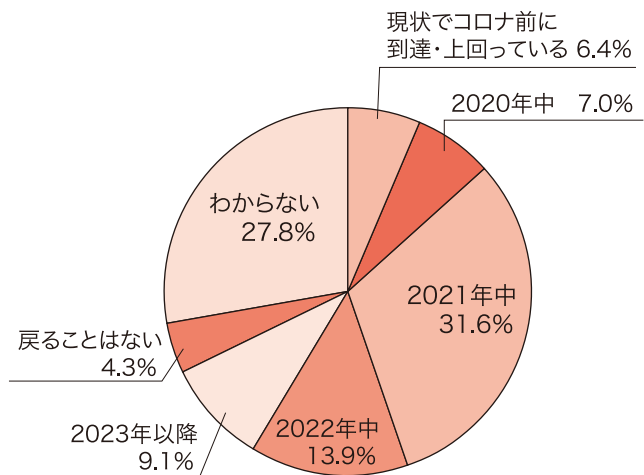




# 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について

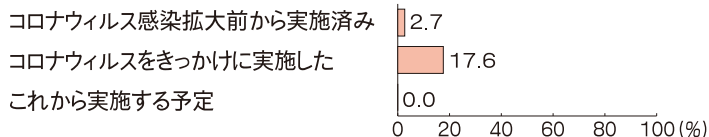
187社（無回答3社）に調査し回答をいただいたものです。

**1** 売上がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。（複数回答）

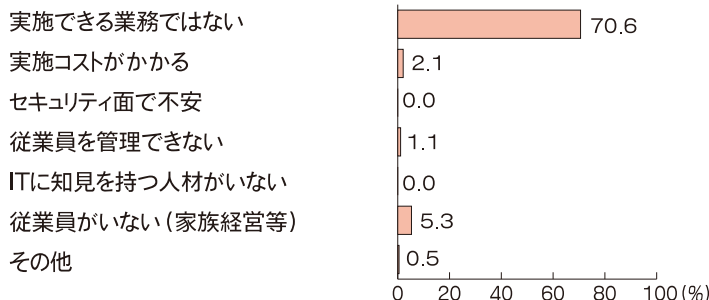


**2** テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む）していますか。

### 実施した（予定を含む）

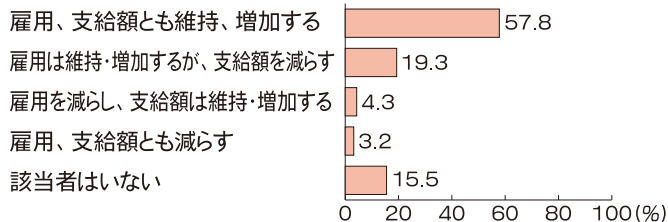


### 実施していない

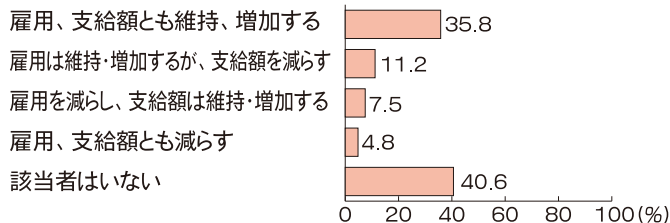


**3** 雇用ならびに1人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。

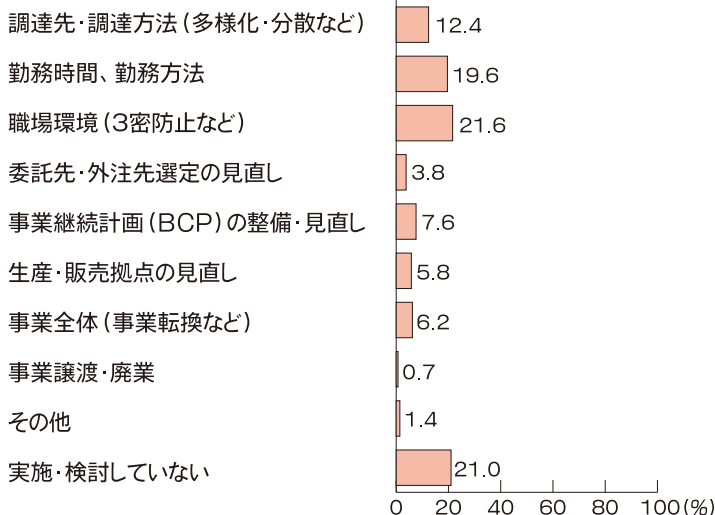
### 正規社員



### 非正規社員



**4** 今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。（複数回答）



**5** 営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。（複数回答）

